

岩沼市まち・ひと・しごと創生推進事業

令和3年度の取組内容

市制施行50周年事業

岩沼市は11月1日に市制施行50周年を迎え、記念事業として、さまざまな事業を行いました。

市制施行日である11月1日が誕生日のハロキティが「いわぬま50周年応援大使」に就任し、1年を通して岩沼市を市内外にPRしました。

11月3日には、「岩沼市制施行50周年記念式典」が行われ、日本初の電子顕微鏡博士として偉大な功績を残され、名誉市民である故只野文哉先生を特別表彰したほか、岩沼のあゆみを振り返る動画の上映などが行われました。

12月には「いわぬま健康ウォーキング・ショッキングイベント」が市内で行われ、冬季五輪に2大会出場している畑中みゆきさん（宮城県出身）も参加し、市民と一緒に楽しみながら汗をなきました。



千年希望の丘管理事業

夏はひまわり 秋はコスモス

令和3年度も前年度に引き続き、千年希望の丘管理事業を行いました。

東日本大震災の教訓を伝える公園内において、訪れた方により長くとどまってもらえるよう、被災した土地を活用し、夏はひまわり、秋にはコスモスを植栽しました。

千年希望の丘では、5月に東京2020オリンピックの関連イベントが開催されたほか、6月には聖火ランナーが公園内を走り、東日本大震災から復興した姿と、世界中からの支援への感謝を発信しました。



岩沼西コミュニティセンター整備事業

市の西部地区では、宅地開発による人口増加のため、住民同士のコミュニケーションの希薄化が課題となっています。さらに、豪雨の際の浸水被害の発生が懸念されています。

東日本大震災以降、東部地区におけるコミュニティの維持などに取り組んできましたが、西部地区においても震災により得られた経験や教訓を生かし、災害に強く、さらには住民コミュニティを大切にしまちづくりが重要となっています。

その拠点として、コミュニティセンターを整備し、生きがいづくりや防災活動の拠点とするため必要な物品や、防災用品など必要な物を購入しました。

